

令和4年8月26日  
福岡市水道局

「飲む海水」のリニューアルについて  
～水道創設100周年を機に、ボトル及びパッケージデザインを一新～

海水淡水化水入りペットボトル「飲む海水～玄界灘の水～」については、福岡市の水道が水源の多くを市域外に頼っていることや海水を淡水化していることを、市民をはじめ多くの方に知っていただき、また、水の大切さを考えていただくきっかけとするため、平成24年4月に発売を開始し、これまでに約27,000本を販売してきました。

今年度、福岡市の水道事業が創設100周年の節目を迎えることを機に、脱炭素社会の実現等の観点から、下記のとおり、ボトル及びパッケージデザインを一新し、令和4年8月27日(土)から福岡市役所本庁舎1階「ユニバーサルカフェ」で販売を開始いたしますので、お知らせします。

福岡市水道局では、次の100年も安全でおいしい水道水を市民に提供していくため、SDGsの達成や Well-being の向上に取り組むとともに、災害の激甚化などにも対応しながら、持続可能な水道事業の構築に向けた様々な取組みにチャレンジしていきます。

◆リニューアル概要

ポイント1 アルミボトルに変更

福岡市として SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に向けた、プラスチック削減に関する取組みを推進するため、ペットボトルから、リサイクル率のより高いアルミボトルに変更しました。

ポイント2 災害用備蓄水としての活用

アルミボトルへの変更により、保存期間が1年から10年となり、災害用備蓄水や支援物資としての活用ができるようになりました。

ポイント3 パッケージデザインの変更

「ユニバーサル都市・福岡」・「Fukuoka Art Next」を推進するため、今回のデザインには、HIBIGEIでも活躍されているアーティスト山田恵子さんの作品を採用しています。



HIBIGEI  
ART & DESIGN

飲む海水のパッケージは  
HIBIGEIの障がいのある方が描いた  
アートを使用しています。

## 「飲む海水」とは

- ・「飲む海水」は、逆浸透法の技術で、海水から塩分や不純物を取り除き、安心して飲める水にした、海水 100%の飲料水（海水淡水化水）です。
- ・水資源に恵まれず、その水源の3分の1を筑後川に頼っている福岡市をはじめとする福岡都市圏は、自助努力のひとつとして、天候に左右されない、日本最大級の海水淡水化施設「海の中道奈多海水淡水化センター（愛称：まみずピア）」（事業主体：福岡地区水道企業団）でつくられた海水淡水化水を利用しています。このことを、福岡市民をはじめ多くの方に知っていただき、また、水の大切さを考えていただくきっかけとするため、平成24年から福岡市役所本庁舎1階ユニバーサルカフェで販売（1本 140 円）を始め、これまで約27,000本を販売してきました。
- ・販売収入のうち一部（1本あたり100円）を、水源地域・流域への感謝の思いから、水を育む森林を守るための植樹の苗木代に活用しています。



「飲む海水」を3本買うと、「苗木」1本に

令和4年3月までに  
約4,800本を寄贈！

## 「HIBIGEI」とは

- ・障がいのある方が描いた絵画やイラストを「日々の芸術」とよんで、彼らの表現活動が仕事につながるように、企業や広告代理店のデザインワークを行うデザインスタジオ。

### 【お問い合わせ先】

水道局総務部総務課 武藤・柳

TEL：483-3103 FAX：482-1376